

# 英語スピーチ 全国へ

## 内子高小田分校

内子高校小田分校（内子町寺村）の生徒2人が、全国商業高校英語スピーチコンテストの県予選で2部門に出場し、最優秀と優秀のダブル受賞をした。全国大会への2年連続出場を果たし、全校生徒72人の小規模校の快挙を関係者が喜んでいる。

県予選には15校が出場。暗記した課題文を朗読するレシーションの部で2年山田愛果さん(16)が最優秀賞を、スピーチの部で3年城戸花さん(17)が優秀賞を受賞した。山田さんは9月17日に東京である全国大会に出場する。

昨年の県予選ではスピーチで小田分校の生徒が最優秀、レシーションは優秀を受賞。ダブル受賞も2年連続となった。

## 2年連続 小規模校が強み

商業高県予選 山田さん最優秀・城戸さん優秀



全国商業高校英語スピーチコンテスト県予選で最優秀賞に輝いた山田さん(右)と優秀賞を受賞した城戸さん

親との意思疎通に悩んだ経験や、現在は母親を理解するためタカログ語と英語を学んでいることなどを盛り込

み、文章を練った。指導する大下陽加教諭は「小規模校なので人前で話す機会も多く、発表する態度を養えるのが強み。生徒たちは真面目で吸収が早い」と評する。さらに発表を磨く山田さんは「いつか両親を海外旅行に連れて行き、英語で案内するのが夢。城戸さんは語学の勉強を続け母と心から分かり合いたい」と話す。2人は語学の学びを通じ、人生を豊かにしようと思いついている。

(山下直人)